

2024ふゆトピア・フェアin北広島

ふゆトピア研究発表会

概要 積雪寒冷地における、安全・安心な生活を送るための新技術への挑戦や開発、地域協働等の発表を通して、積雪寒冷地で取組を行う参加者同士の意見交換等を行います。

と き 2024.1/11 木 9時30分～16時15分

ところ 北広島市芸術文化ホール 大ホール・活動室

論文セッションテーマ

セッションⅠ【地域性を活かした観光・産業振興・地域づくり】

キーワード 冬期観光、利雪・親雪、雪国文化、アイヌ文化振興、流氷、インバウンド、情報発信、北海道新幹線、地方創生、まちづくり、地域協働、住民参加、北方建築、エネルギー等

セッションⅡ【冬期における災害対応・支援・復旧】

キーワード 災害(地震、地滑り、噴火、大雪、吹雪、雪崩、高潮等)、災害対策基本法、通行止め、除雪、雪氷予測、情報提供、関係機関連携、タイムライン、被災者支援、復旧、雪崩対策、結氷・流氷対策、融雪、融雪出水、気候変動等

セッションⅢ【新たな技術を用いた冬期インフラ管理】

キーワード ICT、IoT、i-Construction、新技術、コスト縮減、効率化、メンテナンス、路面管理(凍結防止剤散布、除排雪作業)、視程障害予測技術、吹雪対策、雪氷対策、事故対策、除雪機械の性能向上、人口減少(人手不足)、高齢化、技術の伝承、雪氷予測、克雪、冬期VSP、パートナーシップ、地域防災力、凍害・複合劣化等

スケジュール

時 間	論文口頭発表 第1会場	論文口頭発表 第2会場	ポスターセッション
09:00～09:30	開 場 ・ 受 付		ポスターセッションスケジュール 10：00～ 15：00 ※コアタイムは 11:30～ 13:30
09:30～09:40	開会挨拶 北海道開発局 建設部 道路建設課長 村上 睦	—	
09:45～10:00	セッションⅢ 四国地方の大雪時における冬期交通確保の向上に向けた取り組み ～気象リエゾンによる気象情報収集の効率化と雪氷作業への活用～ 西日本高速道路株式会社 四国支社 田村 健太	セッションⅢ① AI を用いた雪氷システムの現地運用 中日本 ワイ・エンジニアリング 名古屋株式会社 金沢支店 施設保全管理部 柴田 拓海	
10:00～10:15	①【新たな技術を用いた冬期インフラ管理】 高速道路の雪堤処理効率化に向けた共同研究 株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟 荒川 涼	北海道支社管内における雪氷作業判断の高度化に関する取り組み ～雪氷作業現場マネジメント支援システム開発について～ 株式会社ウェザーニューズ 東田 芳治	
10:15～10:30	建物廃熱を利用した環境配慮型融雪システムの 社会実装による検証 中日本高速道路株式会社 技術本部 高度技術推進部 大西 傳允	車載型カメラの画像を用いた 冬期道路維持管理の効率化 国土交通省 北海道開発局 創路開発建設部 道路計画課 三村 北斗	
10:30～10:45	スリップ・登坂不能対策を目的とした 地中熱ヒートパイプ融雪工法の適用効果 株式会社興和 藤野 丈志	粒子ベース解析法による河川護岸に対する 氷板衝突プロセスの数値解析法について 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 寒地河川チーム 阿部 孝章	
10:45～10:55	《 休 憩 》		

時 間		論文口頭発表 第1会場	論文口頭発表 第2会場	ポスターセッション
10:55～11:10	セッションⅢ②「新たな技術を用いた冬期インフラ管理」	積雪寒冷地における電線類地中化の浅層埋設工法の実証試験 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 地域景観チーム 大部 裕次	国道38号における暴風雪時の立ち往生に関する取り組み 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部 道路整備保全課 須田 優作	ポスターセッションスケジュール 10：00～ 15：00 ※コアタイムは 11:30～ 13:30
11:10～11:25		寒冷地域における低湿ひびわれを抑制する改質アスファルト混合物ー救急車搬送路の走行性改善ー 大成ロテック株式会社 技術研究所 久野 晃弘	国道5号小樽市張碓峠で発生したスタック対応～異常気象への備え～ 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部 小樽道路事務所 草島 広佳	
11:25～11:40		大型除雪トラックにおけるキャビン乗降時の転落リスク低減策について ネクスコ・メンテナンス東北 管理部 車両管理課 鈴木 開	近年の立ち往生車両発生傾向に関する一考察～立ち往生車両分析ツールの活用～ 開発技建株式会社 交通計画部 飯田 雅之	
11:40～11:55		信頼度を用いた除雪機械の維持管理手法の検証について 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 技術開発調整監付 寒地機械技術チーム 植野 英睦	遠赤外線融雪装置の試験運用について～国道8号の登坂不能対策～ 国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 南 善博	
11:55～12:10		快適雪氷作業のための可搬型シューズクリーナーの開発と活用 中日本 ワイ・エンジニアリング 名古屋株式会社 岐阜道路事務所 下地 利幸	DXアプリを活用した持続的かつ効率的な大雪への対応 東日本高速道路株式会社 新潟支社 事業調整チーム 小宮 悟	
12:10～13:00	《 昼 食 ・ 休 憩 》			
13:00～13:15	セッションⅢ③「新たな技術を用いた冬期インフラ管理」	準天頂衛星システムを活用した除雪車運転支援システムと自動運転化の開発について 株式会社ネクスコ・エンジニアリング北海道 土木事業部 土木技術部 交通環境課 高柳 琢司	距離と時間に着目した豪雪時の運搬排雪の運用に関する一考察 北海道大学 中前 茂之	凍結抑制型音響道路 (メロディザベック) の事例報告 (音楽を奏でる凍結抑制舗装) 世紀東急工業株式会社 技術企画グループ 加藤 裕康
13:15～13:30		ロータリ除雪車投雪作業自動化に向けた実証実験～除雪現場の省力化に向けて～ 国土交通省 北海道開発局 事業振興部 機械課 貴田 大輔	既設道路防雪林の防雪機能向上に資する対策事例～下級の枯れ上がりが見られる防雪林の管理手法に関する技術資料(案)の公開～ 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム 松島 哲郎	
13:30～13:45		除雪作業の遠隔操作における車両・作業内容別の適用性検討 東日本高速道路株式会社 北海道支社 技術部 技術企画課 高橋 亮介	スタック車両における『緊急脱出用具』の試行導入に向けた、フィールド試験結果の報告 国土交通省 北陸地方整備局 北陸雪害対策技術センター 後藤 大地	
13:45～14:00		LIDAR活用による除排雪業務効率化と生産性向上のチャレンジ～降雪地でのモノづくり最前線を快適にする～ 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 札幌道路事務所 巖桃 勇樹	ETC2.0 データを活用した冬期交通状況のモニタリングについて 国土交通省 北海道開発局 建設部 道路計画課 佐々木 優太	
14:00～14:15		ICT・GIS サービスを用いた冬期道路管理～皆で知識ゼロから始める ICT 活用～ 株式会社玉川組 建設部 舟見 群章	「道の駅」での冬期災害対応力の向上に資する取り組みー「道の駅」さるぶつ公園での事例報告ー 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部 道路計画課 林 貴博	
14:15～14:30	i-Constructionを用いた冬季除雪作業における生産性向上の取組 -留萌市における維持除雪作業の事例 - 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 留萌開発事務所 岡田 大雅	冬季オホーツク海の海水減少が引き起こす波の増大 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 寒冷沿岸域チーム 岩崎 慎介	建設業の担い手確保の現状と課題～北海道の舗装技術者を事例に～ 一般社団法人北海道舗装事業協会 太田 広	
14:30～14:40	《 休 憩 》			
14:40～14:55	セッションⅢ④「新たな技術を用いた冬期インフラ管理」	路面すべり推定 AI によるすべり摩擦係数に応じた凍結防止剤の自動散布試験 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 道路設計管理官付 石井 智博	少子高齢・人口減少社会における流雪溝の課題克服への取組～北海道苫前町(とままえちょう)の事例を中心に～ 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 道路計画課 谷野 淳	国道 48 号雪崩対策 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 仙台西国道維持出張所 鈴木 里実
14:55～15:10		プロピオン酸ナトリウムを活用した凍結防止剤の検証報告 中日本高速道路株式会社 石田 篤徳	バス停スコップ設置事業による地域づくり(状況報告) 国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所 調査課 杉本 梨夢	
15:10～15:25		雪氷作業判断を支援する冬期路面状態予測システム 株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北 館野 哲志	知床地域における地域協働による冬季の取り組み～みちづくりを契機に拡がる地域づくり～ 国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部 道路計画課 渡邊 知己	
15:25～15:40		国道 8 号福井市新保交差点における新たな雪氷対策について 北海道日油株式会社 中地 章	冬の治道景観活用による地域協働事例～「シニック de ナイト」のこれまでの歩みと20周年に向けた今後の展望～ 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部 道路計画課 増井 隆馬	
15:40～15:55		画像処理による路面判別技術の車両への実装検証 株式会社ネクスコ・エンジニアリング北海道 技術統括部 技術開発室 奥 忍	小学校の雪学習(除雪)に関する実践研究と今後の展開ー札幌市での事例を中心としてー 一般社団法人北海道開発技術センター 富田 真実	
15:55～16:05	《 休 憩 》			
16:05～16:15	講評 北海道開発局 建設部 道路計画課 道路調査官 松本 一城	—		

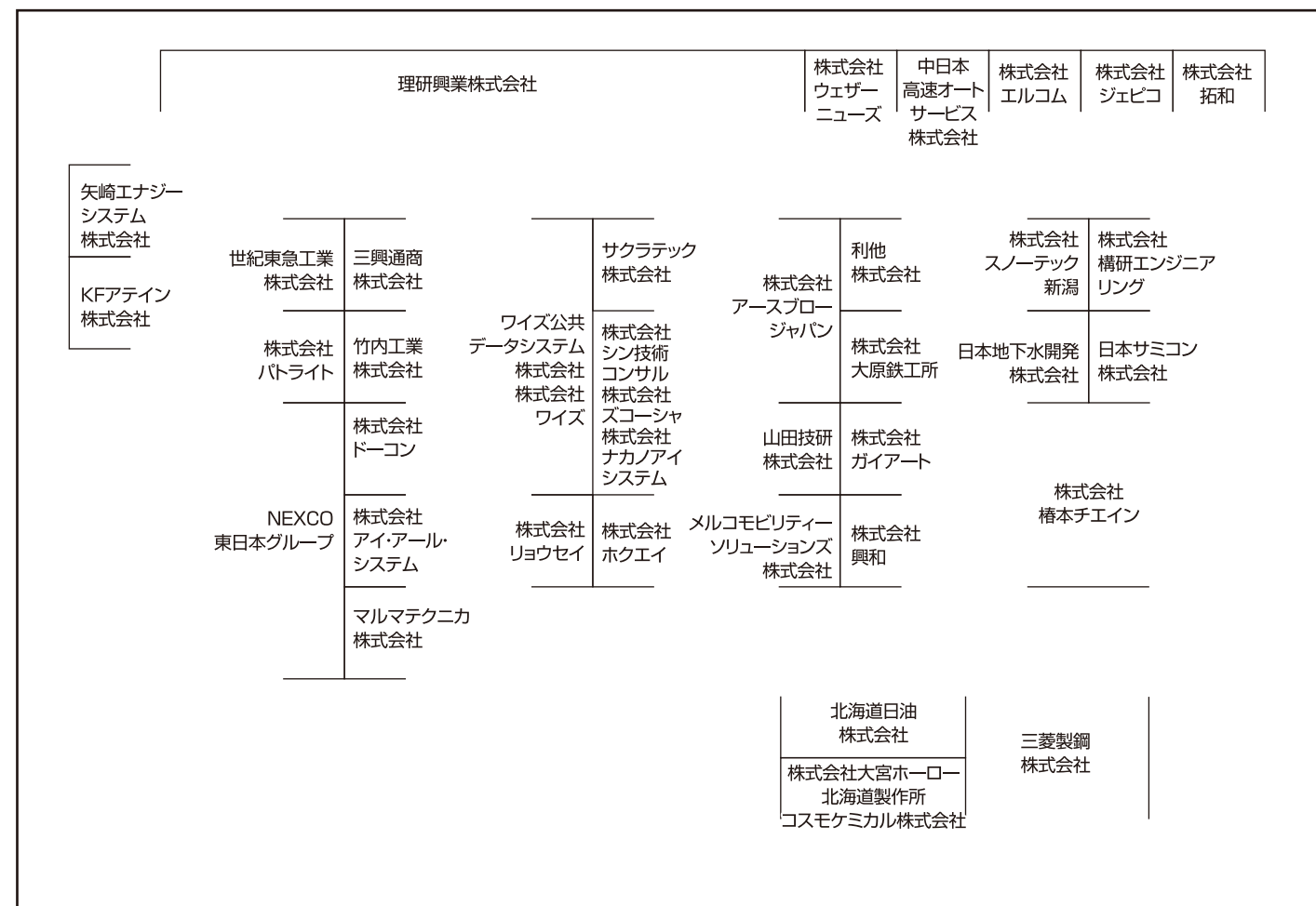
 2024ふゆトピア・フェアin北広島
ふゆトピア展示会

概要	要	冬期における生活環境や防災力の向上、観光振興、地域活性化など、企業・団体・行政による克雪、利雪、親雪に関する技術や取組等をブース展示します。
----	---	---

と き 2024.1/10 **水** 10時~16時 .1/11 **木** 10時~15時

ところ エスコンフィールド HOKKAIDO (1F コンコース)

展示会場



三菱製鋼株式会社 部品事業部 東日本販売部

住 所	札幌市厚別区厚別東2条2丁目3-25
T E L	011-809-6700
F A X	011-898-1780
担当者名	大石 信也 / 立松 拓馬
担当部署	札幌サービスセンター
E-mail	oishi.shinya@mitsubishisteel.co.jp / tatematsu.takuma@mitsubishisteel.co.jp
u r l	https://www.mitsubishisteel.co.jp/

事業内容紹介

当社部品事業部では、主にトラック・建設機械用の補修部品・タイヤチェーン・防寒商品等の販売を担当しております。

建設機械の除雪用合金鋼タイヤチェーンをはじめ、トラック用合金鋼チェーン・リンクコイル軽量チェーン Neo・超軽量オートソック（布チェーン）等を各種タイヤチェーンを全国10か所のサービスセンターに在庫即納体制を整えております。

新時代のタイヤチェーン

出展内容紹介

- ①合金鋼スーパーアリゲーター：接地面もモテウラ両面使用可能で、乗り心地も良くコストダウンに貢献します。
- ②eチェーンneo：従来金属チェーンと比較して、重量50%以下。チェーンバンドが不要なので、低価格でお買い得。
- ③ラクロック・ゼブラ
- ④エフェクト
- ⑤オートソック
- ⑥ミスノ防寒商品各種



3 日本サミコン株式会社

住 所	宮城県仙台市泉区泉中央 4 丁目 1-3
T E L	022-372-7911
F A X	022-732-7456
担当者名	小野 政利
担当部署	仙台事務所
E-mail	ono@nihon-samicon.co.jp
U R L	https://nihon-samicon.co.jp

事業内容紹介

私たち日本サミコンは安全な社会基盤づくりに貢献しています。
日本全国北から南まで、様々な条件の現場で自然と向き合い実績を積み重ねてきました。
主に行ってきた落石対策、雪崩対策の他に社会基盤の補強・補修にも力を入れていきたいと考えています。
近年は、トンネルの補強、補修に対してプレキャスト化を行い、限られた時間と空間に対してチャレンジしています。

雪庇・落雪・着雪を防ぐセピノン

出展内容紹介

トンネル・スノーシェッド坑口や道路際のコンクリート擁壁などにも発生する雪庇を抑制し、その成長を防止する製品です。坑口面壁天端などに後施工アンカーを用いて簡単に設置できるので、施工性、経済性に優れ、既設構造物の道路維持管理作業の軽減と安全の確保がで、走行車両や歩行者を落雪から守ります。



2 株式会社樁本チエイン

住 所	〒610-0380 京都府京田辺市甘南備台 1-1-3
T E L	0774-64-5012
F A X	0774-64-5106
担当者名	小田切 誠司
担当部署	パワトラ商品企画部 輸送機商品課
E - m a i l	seiji.odagiri@gr.tsubakimoto.co.jp
U R L	https://www.tsubakimoto.jp/other-products/tire-chain

事業内容紹介

弊社は1917年の創業以来、培ってきた確かな技術力と優れた品質で産業用スチールチェーンの分野で世界トップシェアを獲得しています。そのコア技術である材料技術・熱処理技術を活かし、除雪車両、トラックバスなどの大型車両向けのタイヤチェーンを設計・製造しております。弊社の技術が詰まった『つばき合金鋼タイヤチェーン』は、軽量、長持ち、低振動など様々な点で広くお客様より評価頂いており、安全・快適そして効率的な除雪作業をサポートします。

除雪作業をサポートする 『合金鋼タイヤチェーン』

出展内容紹介

お客様のタイヤ溝すべてにクロスチェーンがはまるようオーダーメイドで製作するリング付タイヤチェーンZ仕様と、低振動で除雪作業者の負担を軽減するダブルタイヤ用ヘキサグリップ®を展示しています。両商品ともタイヤチェーンとしては唯一、NETISの活用促進技術に認定された商品であり、弊社にしかない商品です。ぜひ当ブースまでお越しください。



4 株式会社構研エンジニアリング

住 所	札幌市東区北 18 条東 17 丁目 1-1
T E L	011-780-2811
F A X	011-785-1501
担当者名	長沼 芳樹
担当部署	技術管理部
E-mail	y.naganuma@koken-e.co.jp
U R L	https://www.koken-e.co.jp/

事業内容紹介

当社は、「北の大地から、安全・安心で豊かな社会づくりに貢献する」を経営理念に掲げ行動する、道路・橋梁・防災・河川・環境・地質調査のコンサルタントです。

北の大地で培ったさまざまな技術や経験を生かし、北国に住む一人ひとりの方々が、安全・安心で豊かな暮らしが維持できるよう、地域を結ぶ交通体系や環境整備などに関する、様々な支援策を提案しております。

北のみちの安全・安心をサポート

出展内容紹介

- パネル展示
・ロードビューワ、移動式定点撮影システム、リモートモニタリングシステム(RMS)、移動気象観測車両、冬期雪氷調査 他
■展示物
・雪氷調査備品類 他



13 株式会社スノーテック新潟

住 所	新潟県長岡市沢田 1-3535-41
T E L	0258-31-8220
F A X	0258-31-8221
担当者名	大川 陽平
担当部署	営業部
E-mail	snowcon@snowcon.com
U R L	https://stniigata.com

事業内容紹介

水資源の有効利用や消融雪設備の省エネルギー化を目的とした降雪センサーの開発をはじめ、雪に関わる自動計測装置を開発しております。近年では、それら機器をIoT活用した情報システムの制作も積極的に取り組んでおります。

住みやすい雪国への貢献

出展内容紹介

(降・積雪検知センサー)
降雪センサー、積雪センサー
(自動計測装置)
積雪深計、飛雪粒子計数装置
(IoTを利用した情報システム)
降雪センサーの稼働状況システム、積雪情報システムなど



15 株式会社アースブロージャパン

住 所	埼玉県北葛飾郡杉戸町下高野 313-1
T E L	0480-31-6788
F A X	0480-31-6789
担当者名	大橋 隼人
担当部署	営業
E-mail	ohashi@earthblower.com
U R L	https://www.earthblower.com/

事業内容紹介

アースブロージャパンでは、移動式冷風機(大型冷風機)の他に様々な冷風機を取り扱っております。置き型クーラーから排出される冷気をダクトを用いて建物内部に取り込み、建物全体の空調としてご使用頂く事が可能です。(別途ヒーター取り付け可能)冷媒ガスを使用しないエコシステムの開発に取り組んでおります。あらゆるシーンや倉庫、工場や学校、体育館などあらゆるシーンで活躍が可能なダクトクーラーも大型冷風機と合わせご提案をさせて頂きます。

価格が魅力の赤外線融雪ヒーター「MAGMA」

出展内容紹介

アースブロージャパンが提供する赤外線融雪ヒーターはゴールドランプから発せられる6000wの強力な熱で積雪を防ぎます。広範囲に赤外線の効果を拡散させ、融雪範囲は融雪テストにおいて15M×7.5Mを計測。積雪を防ぐだけでなく、路面や水道の凍結防止・車のバッテリー上がりの防止屋外でも暖房器具としてもご使用いただけます。



14 株式会社ガイアート

住 所	〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西10-1-4 北1条サンマウンテンビル 8F
T E L	011-221-7736
F A X	011-221-7210
担当者名	田畑重昭 山内基彰
担当部署	北海道支店 営業部
E-mail	stabata@gaeart.com mtyamauchi@gaeart.com
U R L	https://www.gaeart.com/

事業内容紹介

ガイアートは1963年の創立以来、道路、空港、港湾、橋梁建設における舗装工事を中心とする事業と、アスファルト合材、プレキャストコンクリート版等の製造販売、道路の維持管理事業を通じてインフラ整備に貢献している会社です。日々変化する社会環境へ対応するために、豊富な経験と技術力を基にし、インフラの長寿命化やカーボンニュートラルに対応する技術を提供しています。

ガイアートの凍結路面对策工法

出展内容紹介

【フル・ファンクション・ペープ】
専用のアスファルトフィニッシャーによって舗装表面に縦溝を形成し、ブラックアイスバーンを抑制する工法。
【融雪プレキャスト版工法】
コッター式継手によって舗装版を連結する「高強度PRC版」に、融雪ユニットを組み込んだコンクリートプレキャスト版工法。



16 中日本高速オートサービス株式会社

住 所	愛知県名古屋市中区錦 1-11-20 平和不動産名古屋伏見ビル 8 階
T E L	052-211-8901
F A X	052-211-8905
担当者名	加藤 誉恵
担当部署	技術開発部
E-mail	info@c-nexco-as.jp
U R L	https://www.c-nexco-as.jp/

事業内容紹介

弊社はNEXCO中日本グループの一員として、高速道路の維持管理に必要な車両の一括管理することで、お客さまへ「安心・快適」な道路空間をお届けしています。また車両管理に加え、新たな特殊車両の開発や、さまざまな技術開発をとおして、更なる安全性の向上と安心・快適な道路空間の提供を目指しています。

「多目的道路維持作業車 (標識・除雪・散布機)」の販売とリース

出展内容紹介

1年をととして活用可能な多目的道路維持作業車です。2トン車をベースに標識装置及び追突衝撃緩和装置を装備。冬季はスノーブラウと小型薬剤散布装置(1m3)を取り付け、IC・SA・PA及びスマートICなどの狭小部での効率的な雪氷作業が実現可能です。夏季は、冬季の装備を取外し通常の標識車として活用できます。



17 株式会社大原鉄工所

住 所	〒940-8605 新潟県長岡市城岡 2-8-1
T E L	0258-24-2355
F A X	0258-24-8201
担当者名	穴沢 啓人
担当部署	営業部 車両営業課
E-mail	kanazawa@oharacorp.co.jp
U R L	https://www.oharacorp.co.jp/

事業内容紹介

1952(昭和27年)に雪上車の開発以来、現在では唯一の国産メーカーとなりました。南極観測用雪上車や自衛隊用雪上車の製造で培われた実績によりさらなる技術の進化を遂げています。また、一貫生産体制システムを敷き、自社開発・製造・アフターサービスに至るまで、総合的に対応が可能となっており、導入後も安心して皆様のお役に立てることを確信しております。

雪上車でその時社会を支えます

出展内容紹介

多目的雪上車Caliberをご紹介します。全長約4mと小型ながら、最大1名を輸送でき30度の斜面も走可能な機動性とパワーを誇ります。山間部における各種設備の冬保守点検業務、道路維持作業(付け)などに最適な車両で、これで電力会社、放送局等に導入さご好評をいただいております。



19 利他株式会社

住 所	大阪府吹田市青葉丘南 6-33
T E L	06-6878-1254
F A X	06-6878-3934
担当者名	佐野 清美
担当部署	北海道担当 札幌駐在
E-mail	rita@whelen-jpn.co.jp
U R L	https://whelen-jpn.co.jp

事業内容紹介

弊社は米国Whelen社の日本における総輸入販売元として、Whelen社の緊急自動車・道路維持作業車向け警告灯・作業灯や防災スピーカーシステム向けの全方位型長距離スピーカー等を取り扱っております。平成5年11月より販売を初めてから、今までに多くの消防自動車を含む緊急自動車や道路作業車の警告灯や作業灯、各自治体様の防災無線用屋外スピーカーを採用いただいております。

日本でも採用される理由とは？

出展内容紹介

緊急警報業界のグローバルリーダーである米国Whelen社製の散光式警告灯・補助点滅灯・サーチライト・作業灯等、各製品の機能を体感していただく事ができます。是非、ブースへお立ち寄り下さい。



18 株式会社ウェザーニューズ

住 所	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目 3 番地 幕張テクノガーデン
T E L	
F A X	
担当者名	
担当部署	陸上気象事業部
E-mail	https://jp.weathernews.com/contact/
U R L	https://jp.weathernews.com/contact/

事業内容紹介

ウェザーニューズは、日本を本社拠点とし、世界21カ国、30拠点、45市場に対して気象コンテンツ・リスクコミュニケーションサービスを展開する世界最大の民間気象情報会社です。全世界から集まる膨大な気象観測データを解析し、独自の予測モデルを駆使して精度の高い気象予測を提供しています。

最新気象技術を用いた DX 推進

出展内容紹介

冬季の道路管理を強力にサポートする気象予測の最新技術や、気象IoTセンサーを用いた屋外作業実施判断や熱中症対策情報、スマートフォンでも使いやすい除雪・防災・観光/イベント・農業・建設業務支援コンテンツなど、日々の業務に役立つ気象サービスをご紹介します。また、気候変動のリスク調査や対策についてもご案内します。



20 メルコモビリティソリューションズ株式会社

住 所	〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 KDX 浜松町プレイス
T E L	03-6402-7624
F A X	03-6402-7625
担当者名	酒向 智也
担当部署	市場開拓営業部
E-mail	sako@mems.co.jp
U R L	https://www.mems.co.jp/

事業内容紹介

三菱電機グループとして、新たな価値創出を目指します。三菱電機製自動車関連製品を主要アイテムとし、主に自動車販売店・特約販売サービス店・大手用品店などへの商品提案、営業支援を行っており、時代のニーズに合わせて、各種メーカーの自動車機器を中心に住環境機器なども含めた、幅広い商材のシステム提案と、サービスサポートを行っています。営業部門・サービス部門・受注部門・物流部門の4つの体制を整え、お客様に沿ったサポートをご提供いたします。

融雪機能に特化した技術のご提案

出展内容紹介

①寒冷地向けトラック用バックカメラを開発・販売しており、雪道での出発時や走行時に視界を遮ることなく安心安全をお届け。除雪車両にもおすすめです。
②寒冷地向け作業灯でどんな猛吹雪の中でも、確実に明るさを確保することが可能にライトに付着した雪も融かします。



29 株式会社ドーコン

住 所	〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 4 番 1 号
T E L	011-801-1565
F A X	011-801-1566
担当者名	長井 智典
担当部署	事業推進本部 事業・品質管理部
E-mail	tn1016@docon.jp
U R L	https://www.docon.jp/

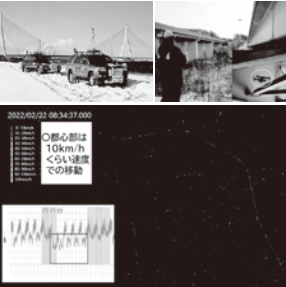
事業内容紹介

弊社は、「信頼の“人と技術”で豊かな人間環境の創造に貢献します」という経営理念のもと、人と自然が共生できる快適な生活環境作りを目指している総合建設コンサルタントです。
北海道で生まれ育ち、これまで培ってきた寒冷地技術の研究と創意工夫をさらに発展させ、豊かな発想で独創性、総合性に優れた技術を提案し、北国の豊かさに貢献できる企業でありつづけたいと考えています。

積雪寒冷地での道づくりと維持管理への貢献

出展内容紹介

弊社のブースでは、「積雪寒冷地での道づくりと維持管理への貢献」をテーマに、弊社がこれまで培ってきた、①UAVを活用した道路維持管理、②移動気象観測車を活用した道路気象調査、③ビッグデータを活用した冬期交通の課題分析等の技術をご紹介します。



31 NEXCO 東日本グループ

住 所	札幌市厚別区大谷地西5丁目12-30
T E L	011-896-5211
F A X	011-896-5888
担当者名	仁木 啓太
担当部署	道路事業部 事業統括課
E-mail	k.niki.aa@e-nexco.co.jp
U R L	https://www.e-nexco.co.jp

事業内容紹介

NEXCO東日本グループでは、北海道の冬期間における厳しい気象条件において、雪氷の最新技術とノウハウを最大限に発揮して、安全・安心・円滑な交通を確保し、お客さまに満足していただける高速道路空間とサービスの提供に努めています。

～安全・安心を実現する雪氷技術～

出展内容紹介

- 準天頂衛星を活用したロータリー除雪車自動化の開発
- サラウンドビューモニター
- 帯状ガイドライト、セーフティライン、フレキシブル・コネクター
- GPS車両位置管理システム
- 雪底切スコップ、つららん棒、雪国ブラケット



30 竹内工業株式会社

住 所	愛知県名古屋市中川区清川町1丁目1番地
T E L	052-361-1111
F A X	052-353-2036
担当者名	古田 博行
担当部署	営業調達部
E-mail	h-furuta@sto-takeuchi.co.jp
U R L	http://www.sto-takeuchi.co.jp

事業内容紹介

- ・インフラ整備用製品製造
- ・自動車用ジャッキ製造
- ・自動車用ステアリング部品製造
- ・単結晶ダイヤモンド製造

小規模なアスファルト補修工事に最適！！

出展内容紹介

- ①アスファルト加熱保温BOX(少量のアスファルトを運搬する際に冬期や遠方現場の場合で特に難しかったアスファルトの温度管理が容易に行えるBOXです。)
- ②TCメルター(舗装のクラック補修材をヒーターで溶解します。加熱を電気制御しているため温度管理が容易に行え、火災の心配がない溶解窯です。)
- ③Gキューブ(工事規制区域内に



暴走車両が侵入した際、瞬時に作業者に知らせる警報装置です。

32 三興通商株式会社

住 所	東京都港区浜松町2-7-1 第38 荒井ビル9F
T E L	03-5777-3627
F A X	03-5777-3629
担当者名	鳥井 宏行
担当部署	営業部
E-mail	hiroyuki.torii@sankotsusho.co.jp
U R L	http://www.sankotsusho.co.jp

事業内容紹介

当社は、1936年にフィンランドのヘルシンキで創立した気象観測および環境・産業計測分野における世界的なリーディング企業であるヴァイサラ社の国内正規代理店です。
火星探査などにも活用されている宇宙環境にも耐える計測技術を提供し、正確な情報に基づく意思決定を可能にし、不確実性の低減に貢献しています。

冬季路面管理における気象センサのご提案

出展内容紹介

正確な道路気象計測によって冬季道路メンテナンスの効率化を支援する製品をご紹介します。
リアルタイムのデータを収集することで、より正確なメンテナンス作業の意思決定、最適化、コスト削減を実現します。
高精度な非接触式やモバイル式の路面センサ、温湿度計や超音波式風速計を展示します。



33 世紀東急工業株式会社

住 所	札幌市北区北7条西5丁目8-5 データビル4階
T E L	011-806-1109
F A X	011-806-1102
担当者名	日野俊之 相澤拓也
担当部署	北海道支店 製品部
E-mail	takuya.aizawa@seikitokyu.co.jp
U R L	https://www.seikitokyu.co.jp/

事業内容紹介

世紀東急工業は長年培ってきた物流や生活を支える舗装事業を中心に、舗装技術の基礎となる製品事業、都市環境や自然環境を創造する土木事業、水利・スポーツ・景観事業と領域事業を広げています。
全国に展開する工事・製品拠点を中心に、その地域の生活基盤を創造し、持続可能で豊かな地域社会づくりに貢献する生活基盤創造企業として、より快適で美しい環境の創造を目指しています。

水で固まる全天候型耐久性常温アスファルト合材。－10度でも硬化する低温に強い「αミックス」

出展内容紹介

冬期間に多発するポットホールに対し迅速に補修対応が可能です。短時間で加熱アスファルト混合物と同等の強度が出るため、施工終了後ただちに交通開放ができます(幹線道路や高速道路での使用も可能です)。水と反応して硬化するので、雨の日でも施工可能です。また荷姿が10kg・20kgの袋詰めなので乗用車にも積載出来ます。



35 K F アテイン株式会社

住 所	宮城県仙台市宮城野区蒲生一丁目110-9
T E L	022-357-0484
F A X	022-357-0485
担当者名	川又 貴仁
担当部署	代表取締役
E-mail	info@attaingroup.co.jp
U R L	http://www.attain-oosamapeint.com

事業内容紹介

- ・除雪重機用塗料の開発・製造・販売
- ・重防食塗料の開発・製造・販売
- ・屋根用塗料の開発・製造・販売
- ・トラックシャーシの塗装

【錆】【着雪】に困っていませんか？ そのお困りごと解決致します

出展内容紹介

2023年4月に塗装工場を建設しました。弊社製品の重防食塗料「鉄王」・除雪重機用塗料「雪王」を自社工場で塗ることでモノ売りからコト売りの実現をしています。
品質管理に力を入れ最高の塗膜を提供できることが私達の強みです。
実際に触れて体験できるコーナーを設置しております。
是非ご体感ください。



34 株式会社パトライト

住 所	東京都品川区1-6-1 TOC 大崎ビルディング
T E L	03-6682-8866
F A X	03-6856-7667
担当者名	竹中 司
担当部署	社会ソリューション営業部 東日本営業課
E-mail	tsukasa.takenaka@patlite.co.jp
U R L	http://www.patlite.co.jp

事業内容紹介

パトライトは光や音、ネットワーク技術と融合させることで、さまざまな業界で活躍する情報伝達用報知機器の「回転灯」や「信号灯」を提供してまいりました。
企業理念「安心・安全・楽楽」をカタチにすることにより、新たな付加価値を加味したユニークな製品やソリューションを提供し続けることで、今後も技術の進展により本格的なデジタル化(DX)が進む社会の大きな変化においても的確に対応し、新たな時代のものづくりやソリューションをご提供することで、お客様の課題解決に貢献してまいりたいと考えております。

現場と働く車の安全対策

出展内容紹介

- ①散光式警告灯AZ型/補助警告灯LP T型LED新設計レンズ、グローブによる優れた配光特性薄型、軽量、コンパクトデザインの注意喚起に適した除雪機械、雪寒車両への推奨品。
- ②後方警戒AIカメラによる危険車両接近警戒システムCIソリューションズ製AIカメラとの連携による報知提案ソリューション。



36 矢崎エナジーシステム株式会社

住 所	新潟県新潟市中央区近江 2-20-44 近江ビル 3F
T E L	025-281-1423
F A X	025-281-2727
担当者名	川田 早紀
担当部署	モビリティ事業本部 計装営業統括部 東北・北関東計装営業部
E-mail	saki.kawada@jp.yazaki.com
U R L	https://www.yazaki-group.com/

事業内容紹介

弊社は「安全・安心・省エネ」をコンセプトにしたタコグラフやドライブレコーダーなどを開発・製造・販売している矢崎グループの一員です。
矢崎グループではワイヤーハーネスを中心とした自動車部品のほか、空調機器、太陽熱利用機器、ガス機器、家庭用電気配線ユニットなど、人々の暮らしに密着したさまざまな製品を扱っています。

出来形車載管理装置、次期型車載管理装置

出展内容紹介

車載管理装置を除雪車に装着し、各種センサーを接続することにより除雪作業の稼働時間を計測・集計するシステムです。
また、GPSを標準搭載しておりますので、軌跡情報の確認も可能です。
次期型車載管理装置はドライブレコーダー機能も兼ね備えておりますので、除雪作業の様子を動画で確認することもできます。

